

佳作

私と日本

イギリスウエールズ日本人補習授業校五年 デーリング 亜仁香

私の宝物は、物心ついた時から、ずっと日本です。日本のことを考えると、いとこの顔や、日本のごはんを思い出します。日本という言葉を知ると、日本に行きたくなります。

私は、イギリスで生まれ、十一年間お父さんの国であるイギリスに住んでいます。けれど、四歳の時から一年半、日本に住んでいたことがあります。その時に、ようち園で「外国人」と言われました。外国人という言葉の意味は分かりませんが、とてもいやな気持ちになりました。そのことがあってから、七歳ぐらいまで、私は自分が日本人ではないと思っていました。どうして、イギリスに住んでいるのに日本語を勉強しなくてはいけないのか、分かりませんでした。

今は、お母さんが日本人なので、私はイギリス人

でもあり、日本人でもあることを知っています。私はハーフです。だから、月曜日から金曜日は英語の学校に通っています。宿題は、週に一回で五分もあれば終わってしまうぐらい、簡単です。

しかし、土曜日だけ通っている日本語の学校は、毎日三十分やっても終わらないぐらいたくさん宿題があります。宿題がありすぎて、やめたいと二年ぐらいずっと思っていました。でも、日本の学校を続けていたおかげで日本の面白い本も読むことができ、日本の親せきと自由にスラスラとおしゃべりもできます。だから、これからも日本の学校も頑張ろうと思っています。

日本の空港に着くと、なつかしいにおいがします。夏に日本に帰ると、雨のにおいと、もわっとあたたかい空気を感じます。私はそのにおいが大好きで、不思議だけれど「帰って来たなあ」と思います。

日本では、おばあちゃんと朝子おばちゃんの家泊まります。たたみのおいも好きですが、たたみの上に布団をひいてみんなで寝るのも好きです。たたみで寝る時は、布団の中でいとこ達とおしゃべりしたり、布団の取り合いをしながら、いつの間にか寝ています。イギリスではいつも一人で寝ているの

で、特別ににぎやかで楽しいのです。

日本のご飯は、イギリスに比べてたくさん種類があり、いつも食事の時間が楽しみです。ざるそば、うめぼし、モスバーガー、朝子おばちゃんのなすび、おばあちゃんのおみそ汁など…書いてあるだけで口の中につばがたまり、よだれがジュルツと出そうです。

イギリスにも、やさしくてたよりになる大好きなお兄ちゃん達、おもしろい親せき、大切なグデイがあります。イギリスの学校には、クラスも通学もいつも一しょのアイリスという体そうがとても上手で、ひょうきんな親友もいるので毎日が楽しいです。

イギリスも一生住みたいぐらい大好きですが、日本は、私を待っていてくれる人がたくさんいる特別なところなのです。それは、わたしの記憶の中にしっかりあるのに、すぐには行けない日本です。